

施工段階		外構		11	設備工事：	シート番号 11-2
電気	空調	衛生	その他		外構設置機器検討	
○	○	○	—			

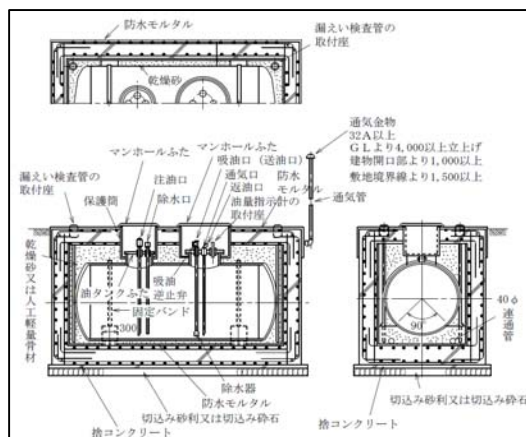
### ポイント

#### ■外構に設置する代表的な設備機器

- ・外構に設置する機器として、キュービクル、水槽類、空調室外機、外灯などがあります。機器内部に水が浸入しないように防雨・防湿対応が必要になります。
- ・塩分を含んだ風を受ける沿岸部（2km以内程度）は、塩害対策を検討しましょう。沿岸300m以内に近接している場合、重塩害対策として塗装をさらに厚くするなど追加対策も考慮が必要です。
- ・埋設設置する機器として、オイルタンク、浄化槽、排水処理槽などがあります。重量車両の導線や耐荷重の検討をおこないます。

#### ■設置場所・メンテナンススペース

- ・設置する設備機器によってメンテナンス用の保有距離や法的・メーカー指定の離隔距離が定められていますので、必ず確保するようにします。
- ・将来において機器設置付近の植栽の成長で機器の効率が落ちる、庭園灯が隠れるなどないように配慮します。
- ・機器のメンテや車両の寄付きの有無の確認を行います。また、メンテナンス用にコンセントや水栓は必要であれば計画します。
- ・設置機器の景観、騒音やいたずら防止のためにフェンスの設置などの確認を行います。
- ・土工事、基礎工事の時期（着工時or竣工前）、工事範囲の調整を行います。また、オイルタンクは消防検査への配慮も必要です。



地下オイルタンク据付け図

#### 先輩アドバイス

- ・配置する設備機器の寸法を確認し搬入方法や搬入ルート、搬入時期を確認しましょう。
- ・操作性、保守点検も視野に入れ配置計画しましょう。
- ・基礎工事の工事範囲を明確にしましょう。
- ・植栽の成長も考慮した計画にしましょう。
- ・いたずら防止に考慮した計画にしましょう。

#### チェック項目

- 設備機器のメンテナンススペースは確保していますか。
- 建設地が沿岸部の場合、塩害対策を施していますか。

#### 失敗すると...

- ・設備機器のメンテナンススペースが確保されていないことで、機器の更新・交換が困難になり保守費用のコストアップになります。



庭園灯

共通管理項目	合理化 省力化	施工性 向上	品質・性能 向上	工期 短縮・圧縮	コスト削減 (材料)	コスト削減 (労務)	設備 先行工事	工事区分 見直し	責任所在 明確化
	○	○	○	—	—	—	○	○	○
備考	参考文献：						制定	2019年3月1日	
	参考メーカー：						改訂		